

## 製品安全データシート



---

### 1, 化学物質等及び会社情報

会社名 純正化学株式会社  
本社住所 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-4-16  
電話番号 03-3270-5413 FAX 番号 03-3270-5461  
担当部門 営業本部 学術担当 担当者 菅野英奇  
緊急連絡電話番号 03-3270-5413 FAX 番号 03-3270-5461  
E-mail: shiyaku@junsei.co.jp  
url: <http://www.junsei.co.jp>  
作成日 2004年5月26日  
整理番号 43262  
製品名 (日本薬局方) 沈降炭酸カルシウム Precipitated Calcium carbonate

---

### 2, 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別: 単一製品  
化学名: 炭酸カルシウム  
化学式:  $\text{CaCO}_3$   
CAS No: 471-34-1  
含有量: 98.5%以上  
化審法: 1-122  
安衛法: 公表

---

### 3, 危険有害性の要約

分類の名称: 分類基準に該当しない。  
危険性 危険度を0~4の5段階で表示  
火災 0(危険無)  
人体 1(要注意)  
反応 0(危険無)  
1. 不燃性である。  
2. 有毒である。  
有害性  
吸入した場合...  
1. 粉塵吸入は鼻、気道に刺激を与える。  
2. くしゃみ、咳を引き起こす。  
皮膚に触れた場合...  
1. 長時間または繰り返し粉塵との接触は刺激がある。  
2. 皮膚への乾燥。  
眼に入った場合...  
1. 刺激する。  
2. 発赤。

---

### 4, 応急措置

眼に入った場合: 先ず数分間、多量の水で洗い流す(できればコンタクトレンズをはずす)。医師に連れて行く。

皮膚に付着した場合: 汚染された衣服を脱がせ、水と石けんで皮膚を洗浄。医師に連絡。

吸入した場合: 新鮮な空気と安静。必要な場合には人工呼吸。医師に連絡。

飲み込んだ場合: 意識あるなら、口をすすぎ、2 - 4杯の牛乳か水を与える。意識なければ、何も与えない。医師に連絡。

---

## 5, 火災時の措置

### 消火方法

1. 周辺火災の場合、出切る限り速やかに容器を火災現場より遠ざける。移動不可能な場合は容器及び周囲に散水して冷却する。

2. 着火した場合は風下の人を退避させ火元への燃料源を断ち、風上より消火剤を使用して消火する。消火に当たっては保護具を着用する。

### 消火剤

1. 水スプレー、粉末消火薬剤、AFFF(水性膜泡消火薬剤)、泡消火薬剤、二酸化炭素。

---

## 6, 漏出時の措置

1. 換気。

2. 漏出物をふた付の容器に集め、残留物を砂または不活性吸収剤に吸収させて安全な場所に移す。

3. 特別個人用保護具: 自給式呼吸器を含む完全保護衣。

---

## 7, 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

1. 蒸気、ミスト、ガスが、皮膚に触れたり、吸入することがないように、局所排気したり、保護具を着用する。

2. 作業場を換気する。

3. 作業中は飲食、喫煙をしない。

### 保管

1. 火気厳禁。

2. 密栓して換気のよい冷暗所に保管する。

---

## 8, 暴露防止及び保護措置

通気: 換気装置を用いて、ミスト、ほこり、蒸気濃度を低く保つ。

暴露限界: 規制値は設定されていない

### 設備対策

1. 局所排気装置

### 保護具

1. 防塵マスク。

2. 安全ゴーグル。

3. 不浸透性保護手袋。

4. 不浸透性保護衣。

---

## 9, 物理的及び化学的性質

### 外観等

1. 白色粉末または無色結晶。

融点: (あられ石) 825 で分解、(方解石) 1,339 (102.5atm)

比重又は高比重:(あられ石)2.83;(方解石)2.711(25.2 )

溶解度

1. 水には実質的に不溶、炭酸ガスを含む水には微溶。

---

#### 10, 安定性及び反応性

加熱・燃焼...

危険性無

1. 高温に加熱すると分解し、二酸化炭素を生じる。

水との接触...

危険性無

空気との接触...

危険性無

混触等...

危険性無

1. 酸と反応し、二酸化炭素を発生する。

---

#### 11, 有害性情報

刺激性(RTECS)

ドライズテスト:ウサギ、目 750ug/24H :重度

ドライズテスト:ウサギ、皮膚 500mg/24H :中程度

急性毒性(RTECS)

LD50 = 6450mg/kg 経口 ラット

発がん性:

ACGIH, IARC, NIOSH, NTP, OSHA に記載なし

---

#### 12, 環境影響情報

データなし

---

#### 13, 廃棄上の注意

1. 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。

---

#### 14, 輸送上の注意

1. 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にこなう。

国連分類:

容器等級:

国連番号:非該当

---

#### 15, 適用法令

消防法:非該当

毒劇法:非該当

P R T R法:非該当

労働安全衛生法:安衛法通知有害物(施行令、別表第九の番号):非該当

薬事法:日本薬局方医薬品

---

#### 16, その他の情報

参考文献

メルクインデックス13版 1653  
STNインターナショナル RTECS ファイル  
危険物船舶運送及び貯蔵規則;危険物総索引(九訂版)日本海事検定協会(海文堂)  
第13改正日本薬局方(廣川書店)

---

コメント

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。

全ての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上でご使用下さい。